

耳鼻咽喉科

1) 研修スケジュール

- (月) 午前 外来、午後 外来、17:00～カンファレンス (15F西)
 (火) 午前 午後 手術、17:00～医局会 (6F)
 (水) 08:00～症例検討会 (15F西)、08:30～教授回診
 午前 外来、午後 病棟
 (木) 午前 午後 手術
 (金) 午前 病棟、午後 外来
 (土) 午前 外来

2) 到達目標

- ・研修医として必要な耳鼻咽喉科領域の知識を習熟し、技能を身につける

研修医到達目標		研修前	研修終了時
1.	鼓膜、鼻内、口腔、咽喉頭の所見がとれる。		
2.	耳鼻咽喉科検査：各種生理的検査を理解し、結果を判定できる。		
3.	耳鼻咽喉・頭頸部領域のCT、MRIを読影できる。		
4.	鼻・副鼻腔の構造が理解できる (鼻副鼻腔手術に必要な知識)。		
5.	耳の構造が理解できる (鼓室形成術に必要な知識)。		
6.	咽喉頭の構造が理解できる (頸部手術に必要な知識)。		

a=十分できる b=できる c=要努力 (3段階評価) / ?=評価不能

3) 経験できる疾患や手技

経験できる疾患

- 1) 耳科学
耳垢、外耳道異物、急性中耳炎、滲出性中耳炎、慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎、突発性難聴、良性発作性頭位めまい、末梢性顔面神経麻痺
- 2) 鼻科学
アレルギー性鼻炎、鼻出血、急性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎、鼻中隔彎曲症、鼻骨骨折、鼻・副鼻腔癌
- 3) 口腔咽頭科学：
急性扁桃炎、扁桃周囲膿瘍、唾石、唾液腺腫瘍、口内炎、咽頭炎、口腔癌、咽頭癌、嚥下障害
- 4) 喉頭科学
反回神経麻痺、声帯ポリープ、喉頭癌、急性喉頭蓋炎
- 5) 頭頸科学
頸部膿瘍、転移性頸部腫瘤、頸部結核

経験できる手技

- ・耳垢除去
- ・聴力検査、ABR
- ・平衡機能検査
自発眼振検査 (フレンツェル使用)
温度眼振検査 (カロリックテスト)
視運動性眼振検査
指標追跡検査
- ・味覚検査
- ・嗅覚検査
- ・喉頭ファイバースコープ検査
- ・減感作療法
- ・気管切開術
- ・口蓋扁桃摘出術

耳鼻咽喉科

4) 推薦書籍



難易度
★★★

コメント
わが国の耳鼻咽喉科領域のバイブル!



難易度
★★

コメント
診断、治療が簡潔にまとめられた成書。



難易度
★

コメント
短期間で、耳鼻咽喉科専門医になった気分になれる本。

5) 事前アンケート

1. 将来希望する診療科があれば教えてください。
2. 学会参加・発表、特別休暇(夏休みを含む)、血液センターなど事前に分かっている予定があれば教えてください。

6) 自由記載欄(研修について要望などがあれば記載してください。)

氏名 _____